

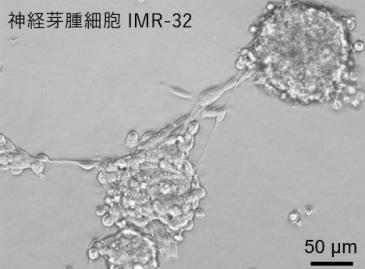


化粧品素材や食品成分の応用可能性の探索
3次元ヒト皮膚モデル、リポソーム製造装置

技術分野分類 7103：農芸化学・応用生物化学

技術キーワード 11：細胞・細胞培養

産業分類 09：食料品製造業、16：化学工業

内 容	概要	化粧品素材や食品成分の応用可能性の探索についてヒト培養細胞ならびに3次元ヒト皮膚モデルにおいて、リポソーム化も含めてご協力できます。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	3次元ヒト皮膚モデルは、化粧品素材の研究開発において動物実験の代替として用いられている。また、リポソーム製造装置を用いて、簡便に各種リポソームを調製することができる。
	本技術の有用性	化粧品素材や食品成分の効能探索において、ヒト培養細胞を用いて、各種試験ができます。また、リポソーム製造装置を用いて、被験物質のリポソーム化による機能向上について試験すること、化粧品素材では動物実験の代替として、3次元ヒト皮膚モデルを用いることができます。
関連情報 (図・表・写真等)		   <p>簡便な操作でリポソームを調製できるシステムがあります。</p>
適用可能製品		化粧品素材、機能性食品
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	加藤 信哉 研究基盤推進機構先端科学研究支援センターAIソートープ実験施設 助教
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	三重大学研究・地域連携部社会連携チーム 059-231-9011/059-231-5483 syakai-s@ab.mie-u.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2022年10月27日